



②ふくろう先生の ほうしゃせんって どんなもの?・?

*「なにがおきたの ほうしゃせん」から
続けて読む場合のセリフ

↓いま読んだお話で、何回も出てきた

*「なにがおきたの ほうしゃせん」と
別の日に読む場合のセリフ

↓この前読んだ紙芝居で、何回も出てきた

「放射線」や「放射性物質」という言葉を
みんなは聞いたことがあったかな?

次は、こんな勉強をしてみよう!

また、みんなで声を出して

一緒に題名を読んでみよう!

せーの、

「ふくろう先生の、ほうしゃせんってどんなもの?」

抜く



ある日のことです。

ふくろう先生は、

王子さまと森の仲間たちを集めて、
勉強を教えていました。



「さて、みななもの。」

今日はどんな勉強がしたいんじゃない？」

すると、くまおくんが手をあげて
答えました。



「はい！前に放射線のことを」

少し聞いたことがあるんですが、
もっと教えて欲しいです。」



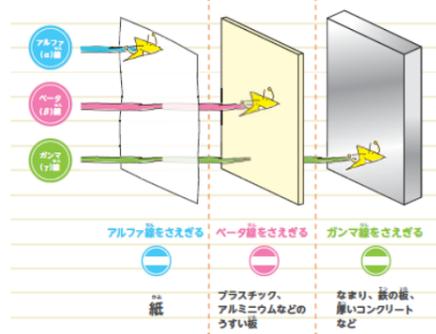
「よかろう。」

放射線のことを正しく知ることは、
大事なことじゃからのう。」

抜く

放射線には、どんな性質があるの？

紙を通り抜けるものや、アルミニウムなどのうすい金属の板を通り抜けるものなど、放射線の種類によって性質が違います。



抜く

森のみんなはびっくりしました。



「えっ！体も通り抜けるの！？」

通り抜けてしまうものもあるんじゃない？」

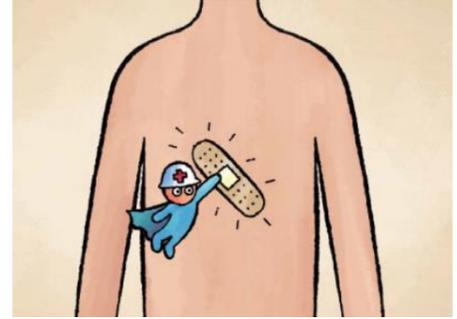
体にぶつかって、

でも光と違うのはな、見えないし、

「放射線とは光のようなものなんじゃ。



※イラストでは、東京電力福島第一原子力発電所の事故由来の放射線をイメージしていますが、事故前の自然の状態でも、大地や宇宙から来る放射線を受けています。

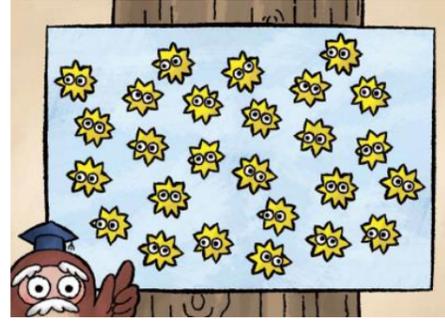


「それはな、よいか。
みんなの体には自分で治す力があるから、
少しだったら心配することはないんじゃないよ。」



「え〜！そうなんだ！」
森のみんなは安心したようでした。

抜く



「みんなのもの！安心するのは、まだ早いぞ！
気を付けなければならぬのは、
放射線を受ける量じゃ！」



「先生！どつどつとや？」

森のみんなは思わず聞きました。

抜く



※ふくろう先生
くまおくん
アリさん
をしつかりと
読み分けましょう。



「くまおくん、その「に」はアリさんと
相撲をとったら、どっちが勝つと思う？」

*子どもと対話

みんなはどっちだと思う？」

アリさんってどれくらいのおおきさ？くまさんは？



「先生、ぼくは力持ちだよ。
ぼくが勝つに決まっているよ！」



「そっじゃろう。じゃが、
アリさんがたくさんいたらどっちじゃ？」



「たくさんいたって僕が勝つよ！」



「そうか、では、やってみなさい。
はっけよい、の」った！」

抜く



「みんな集まれ！」

たくさんのアリさんたちは、
ひとかたまりになって、
くまおくんより
大きなくまの形になりました。

「ガオーガオー！」

「うわあー！」「うさんー！」「うさんー！
かなわないよ！」

「まいったか〜！」

「勝負あり。アリさんの勝ち！」

抜く

※ふくろう先生
くまおくん
アリさん
をしつかりと
読み分けましょう。



「どうじゃ、くまおくん。

小さなアリさんも、

たくさんいたら強いじゃろっ！

放射線もそれとよく似ておる。

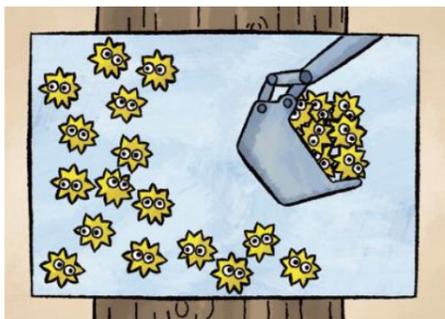
いっばいだと、よくないんじゃよ。」



「先生、よくわかりました。」

くまおくんは、うなずきました。

抜く



「たくさんの放射線を
体に受けるとよくない。
だから、できる限り減らすことが大切じゃ。



放射性物質のついた土を、
削つたりして取り去ることで、
体が受ける放射線の量を
減らすことができるんじゃよ。」

「なるほど、そういうんじが…」

抜く



「ところで、みななもの。
この機械を見たことがあるか?」

*子どもと対話

みんな見たことある?
どこに置いてあった?

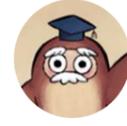
そう、公園や校庭、駅の前とかにあるね。

そこでクイズ!

これは何を測る機械でしょうか?

- ① 気温を測る
- ② 太陽の光を集めている
- ③ 放射線の量を測っている

抜く



「正解は、

③放射線の量を測っているじゃ。

いま、どれくらい放射線があるのかを測って、
見張っているんじゃないよ。」



「そういう機械だったんだね！」

抜く



「みんなが安心して暮らせるよう、
除染をして放射性物質を減らしたり、
放射線の量を測る機械で
放射線を見張ったりしているんじや。」

ただ心配するのではなく、正しく知って、
自分たちで考えられるようになるよというの。

みななもの、これからも放射線について、
いろいろと学んでいくのではないかー！」



「はい、ふくろう先生！」

森のみんなは元気よく答えました。
おしまい。

*「ふくしまのたべものってどうなってるの?」
を続けて読む場合のセリフ

↓次は、福島のご飯物について

ふくろう先生がもっと詳しく教えてくれるよ。